

木曾川水系連絡導水路事業および長良川河口堰に関する 「参議院・愛知選挙区」 予定候補者 10名の〈回答結果〉

〈事務局よりお断りとお願い〉

※ 本「アンケート」について、すべての予定候補者（敬称略、50音順）11氏〈伊藤 よしき（社会民主党）、宇田 幸生（減税日本）、大塚 耕平（民主党）、近藤 浩（維新）、酒井 庸行（自由民主党）、中根 裕美（幸福実現党）、平山 誠（みどりの風）、本村 伸子（日本共産党）、薬師寺 みちよ（みんなの党）〉の9氏事務所を直接訪問し、また身玉山 宗三郎（愛知人）についてはE-mailにて（※本人の意向）、ご回答を下さるようそれぞれお願いしました。

6/28現在、近藤 浩、中根 裕美のお二人からは、無回答となっています。

◆「公開アンケート」 質問票&回答結果

1 現在、国は木曾川水系連絡導水路事業について「凍結」としてはいますが、本事業の今後について、貴候補はどのようにお考えですか。以下の事項を選択・回答してください。

- (1) 速やかに本工事着工し、事業を推進すべきである。……**回答者なし**
- (2) 現計画にとらわれない抜本的な再検証を行うべきである。……**3人**
- (3) 事業を中止し、事業計画を白紙に戻すべきである。……**3人**
- (4) その他……**2人**
※無回答……**2人**

このことに関し、お考えがあれば意見を述べてください。……**表-1参照**

2 長良川河口堰について、愛知県は開門調査のあり方について、国交省と協議したいという意向をもっていますが、貴候補はどのようにお考えですか。以下の事項を選択・回答してください。

- (1) 現状のまま、長良川河口堰を閉じて維持・管理をすればよい。……**回答者なし**
- (2) 国交省は、速やかに愛知県との協議に応じ、開門調査のあり方を検討すべきである。……**5人**
- (3) その他………**3人**
※無回答……**2人**

このことに関し、お考えがあれば意見を述べてください。……**表-2参照**

3 木曾川水系三川の環境・水利用などに関する政策提案・マニフェスト・お考えなどがあれば、述べてください。……**表-3参照**

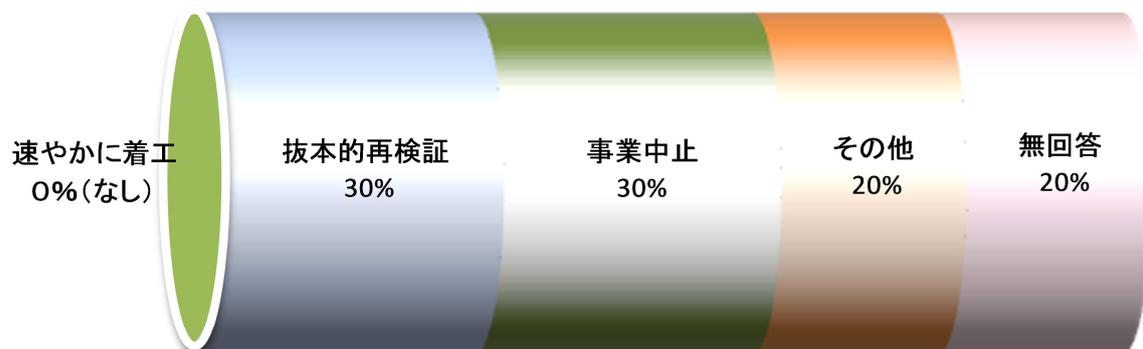
◆ 表一 木曽川水系連絡導水路事業の今後について

| 回答者/所属 | 質問1の回答 | 質問1への意見 |
|------------------|--------------------------------|---|
| 伊藤 よしき /社会民主党 | (3) 事業を中止し、事業計画を白紙に戻すべきである。 | 人口減少、農地(水田)の減少は今後も続くと思われます。当然、水の需要も減ります。導水路は必要ありません。官僚と業者のための事業には反対です。 |
| 宇田 幸生 /減税日本 | (2) 現計画にとらわれない抜本的な再検証を行うべきである。 | |
| 大塚 耕平 /民主党 | (2) 現計画にとらわれない抜本的な再検証を行うべきである。 | |
| 酒井やすゆき /自由民主党 | (4) その他 | 木曽川水系連絡導水路は、既に完成した徳山ダムの計画当初から。ダムと一体不可分の施設として位置付けられており、徳山ダムに確保した水源を活用するためには、残された導水路が必要不可欠であると考えます。 このため、国の事業の検証に当たっては、地域に必要な事業として、その推進を図ってきたこれまでの経過や地域の実情を十分に踏まえるとともに、事業進捗が停滞しないよう速やかに進めるべきと考えます。 |
| 平山誠 /みどりの風 | (3) 事業を中止し、事業計画を白紙に戻すべきである。 | |
| 身玉山宗三郎 /愛知人 | (4) その他 | |
| もとむら伸子 /日本共産党 | (3) 事業を中止し、事業計画を白紙に戻すべきである。 | 徳山ダムの水は“遠くて高い水”の典型であり、導水路なしには役立ちません。将来の水需要がなく、渇水対策の有効性もはっきりしないまま、事業をぼう張させるやり方は許せません。 必要性のない事業であり、ただちに計画の中止・撤回をすべきです。 |
| 薬師寺みちよ /みんなの党 | (2) 現計画にとらわれない抜本的な再検証を行うべきである。 | |
| 近藤 ひろし /維新 | 無回答 | |
| 中根ひろみ /幸福実現党 | 無回答 | |

※編集部 (注)

選択肢<(1) 速やかに本工事着工し、事業を推進すべきである。>は、回答者がゼロでした。

質問1 木曽川水系連絡導水路事業の今後について



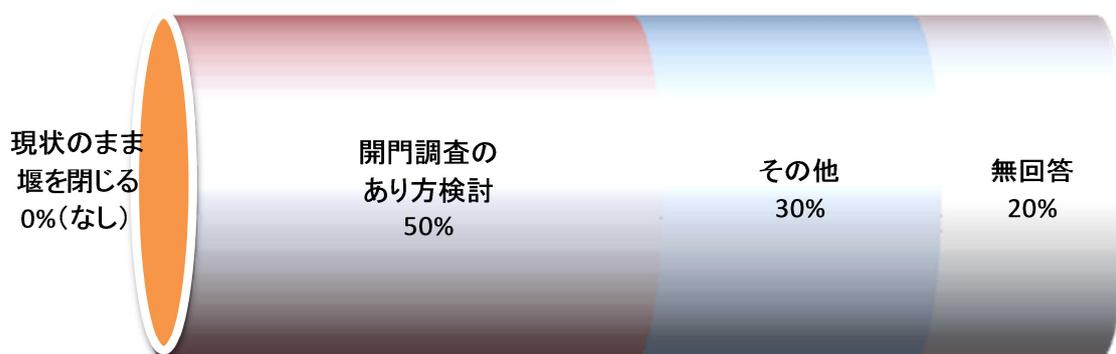
◆ 表一2 河口堰「開門調査」に関し、県と国交省の協議について

| 回答者/所属 | 質問2の回答 | 質問2への意見 |
|------------------|--|--|
| 伊藤 よしき /社会民主党 | (2) 国交省は、速やかに愛知県との協議に応じ、開門調査のあり方を検討すべきである。 | 長良川河口堰そのものに反対です。調査も必要（今となっては）でしょうが、解体廃棄も視野に入れるべきだと思います。 |
| 宇田こうせい /減税日本 | (2) 国交省は、速やかに愛知県との協議に応じ、開門調査のあり方を検討すべきである。 | |
| 大塚 耕平 /民主党 | (2) 国交省は、速やかに愛知県との協議に応じ、開門調査のあり方を検討すべきである。 | |
| 酒井やすゆき /自由民主党 | (3) その他 | これまでの建設・運用の歴史的経緯を尊重し、岐阜・三重両県や関係機関の意向、産業・県民生活に与える影響を考慮し、対応を図るべきと考えます。 |
| 平山誠 /みどりの風 | (2) 国交省は、速やかに愛知県との協議に応じ、開門調査のあり方を検討すべきである。 | |
| 身玉山宗三郎 /愛知人 | (3) その他 | |
| もとむら伸子 /日本共産党 | (2) 国交省は、速やかに愛知県との協議に応じ、開門調査のあり方を検討すべきである。 | 自然の流れを回復させる開門調査によって、自然破壊と浪費の実態をオープンに検証し、教訓をくみとり、生態系回復の可能性と方策、利水・治水の代替策や塩害防止措置を検討できます。 日本共産党は長良川河口せきの建設に反対してきました、開門調査実現の運動も呼びかけてきました。もともと無用の長物であり、ただちに開門すべきものです。 |
| 薬師寺みちよ /みんなの党 | (3) その他 | 現地調査の上 判断。 |
| 近藤 ひろし /維新 | 無回答 | |
| 中根ひろみ /幸福実現党 | 無回答 | |

※編集部（注）

選択肢く（1）現状のまま、長良川河口堰を閉じて維持・管理をすればよい。>は、回答者がゼロでした。

質問2 河口堰「開門調査」に関し、県と国交省の協議について



◆ 表一3 木曽川水系三川の環境・水利用などに関してのご意見

| 回答者/所属 | 質問3への意見 |
|------------------|--|
| 伊藤 よしき /社会民主党 | 前記(質問1・2で回答)に関連しますが、徳山ダム、河口堰など、人間(官僚、業者等)の欲のために、自然が破壊されています。 人間のために環境を守るのではなく、あるがままの自然・環境を維持すべき。自然は自然にゆだねる。 |
| 宇田こうせい /減税日本 | 前記(質問1・2で回答)のとおりです。 |
| 平山誠 /みどりの風 | そもそも、徳山ダム計画時の水需要は、高度経済成長を前提とした計画でしたが、90年代以降水需要は鈍化傾向となっています。更に近年の工場の海外進出や本格的な人口減社会の到来、また企業や家庭での節水指向などで、当初の水需要との乖離が広がっています。 「もんじゅ」などの原発施設も同様ですが、一度走り始めたら止まらない巨大公共事業は、政官癒着の最たるものです。未来に負の遺産を残さないために、大きな声を上げていきたいと思っております。 |
| 身玉山宗三郎 /愛知人 | まず、率直に正直に申し上げて、上記2件の具体的な事案については、質問者様の方がわたくしよりもずっと詳しくご存知だと思います。 ですので、わたくしとしては一般的な政策提言しかできません。これを前提に述べれば、まず治水というものには必要不可欠です。河川を自然そのままに放置するのが一番良いのだという考えには賛同できません。治水は人類の歴史の原始からの課題です。他方で、水系の環境、安全な水、財政健全化も重要であるという観点からむやみやたらなインフラは認めることはできません。 ですから、上記2件の事案についても、事実を具体的に勉強させていただいて必要な治水なのか、無駄で有害なインフラ整備なのか判定しなければなりません。 立候補の時点で立場を決めることはありません。当選すればしっかり勉強させていただいて取り組みます。 |
| もとむら伸子 /日本共産党 | 湧水には、既存水源の統合運用で対応できます。 近年の湧水傾向は地球温暖化も影響しています。自然破壊の開発至上主義から脱却し、緑の保全・回復と多様な身近な水源の涵養、節水・循環型社会づくりの計画的推進など、ダムに依存しない水資源の確保と水利用のあり方へ転換すべきです。 |
| 薬師寺みちよ /みんなの党 | 環境への配慮と費用対効果の検証が必要。 |
| 近藤 ひろし /維新 | 無回答 |
| 中根 ひろみ /幸福実現党 | 無回答 |

<お願い>

- ① **「導水路」事業や、長良川「河口堰」の水質問題は地域問題にとどまらず、次世代につながる国政の重要課題です。ぜひ、アンケート結果を参院選の投票の参考にしてください!**
- ② **なお、徳山ダム「導水路」事業の動向や、私たちの活動の詳細につきましては、「導水路はいらない! 愛知の会」のホームページ< <http://www.dousuiro-aichi.org/> >をご覧ください。**